

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都市立上京中学校 】

1 実践テーマ	① ・ II ・ III ・ IV ・ V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	第2学年（134名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (展示発表 [文化祭])</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>パラスポーツを体験、選手からの生の声を聞き、困難に立ち向かう強い心をもつ大切さを知り、自分たちから発信できることを考えるとともに、本校出身の車いすバスケットボールの選手を応援する意味も込めて、選手のみならず自分たちもそれぞれが共に心を揺さぶられるような表現をすることで応援をしようと考えた。</p>
5 取組内容	<p>2019 年度より大会を意識した取り組み【競技の 1 シーンをドットアートで表現した作品作り】</p> <p>○テーマ： 『挑戦』</p> <p>○発表内容</p> <p>展示 ①オリンピックを前に様々な挑戦シーン（主にスポーツ）を各クラス担当しドットアート貼絵で表現、制作する。 1 作品を完成させる</p> <p>②「挑戦」をテーマに自分たちの挑戦について書いたものを一つの形にする。（大きさ・形式指定）</p> <p>制作方法 ①ドットアート…指定された箇所にシールを貼っていく</p>





各クラスパラリンピックの1シーンを丸形シールを貼り合わせ、ドットアートで仕上げた。また、パラリンピック競技の内容を総合の時間を使って調べ、ポスターにして文化祭で展示をしたり、舞台でも取り組みの発表を行った。

【文化祭展示風景】



【文化祭舞台発表風景】



2020年度【人権学習でパラスポーツを体験、選手からの生の声を聞き、困難に立ち向かう強い心をもつ大切さを知る】

○テーマ： 『挑戦』 ➡ 昨年度のドットアートのテーマ。本年度も引き続き同じテーマで行う。

取り組み内容

【個人の取組】 選手たちに向けた応援メッセージを制作する

【全体の取組】 個々の応援メッセージを集約、巨大パネルに仕立てる

イメージ図



	<p>との素晴らしさを感じ、日本で行われるオリンピック・パラリンピックの選手たちを上京中学校から応援していこうとすることで意識の高まりが出てきている。この取り組みから、今後の様々な場面で意識させていきたいと考えている。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>本校の生徒・教職員のみならず多くの人が入り出る昇降口に巨大壁画として展示し常に目にできるようにし、自分たちもそれぞれが共に心を揺さぶられるような表現を工夫した。発表する機会も文化祭・体育祭に合わせて行い。前年度からの経過が分かるようにした。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>2020 年度は新型コロナ禍でポスターセッションや対面の発表ができなかった。今後は様々な状況を考え、ICT を活用した発信や交流を取り入れていくことで新たな活動方法を工夫する必要があると考える。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>「項目 8」同様、様々な状況を考え、ICT を活用した発信や交流を取り入れていくことで新たな活動方法を工夫する必要があると考える。2021 年度は、3 年生はこれまでの思いや考えなどをさらに高め、最上級生として進路選択に向けた取り組みをすると共に、1 年生は身の回りを見つめ地域からの発信、2 年生は社会の中の自分を意識したものを取り入れていきたいと考える。</p>